

モニター通信 No. 1

皆さんから寄せられた「モニター通信5月分」を紹介します。

「SNSやインターネットの使用で気を付けること」

～SNSやインターネットを利用して様々な意見交換が可能となりましたが、近年ではトラブルも多発しています。利用にあたり注意していることやご意見をお書きください～

モニターから No. 1

今やSNSもインターネットもいつの間にか私達の生活に欠かせないものとなりました。私のように地方に住んでいながら自家用車を運転しない者にとってはインターネットを利用した買い物や個人売買は本当に便利であり、積極的に利用しています。書籍などはほとんど図書館を利用していますが、どうしても欲しい書籍はネットで購入すれば数日で手元に届きます。家電が突然壊れた場合もネットで検索すれば新しい物を見つけて店舗まで行かなくても入手可能です。選ぶ際も多数の中から商品情報や値段、利用者の評判も考慮しながら購入できます。決済もオンラインであることができるので現金を用意する必要もなくありがたいです。またメルカリのようなフリマサイトなどを利用して不要品を売って断捨離をしたり、中古品で安く購入して節約に役立てたりもできます。

個人的には趣味で始めた手芸品をインターネットのハンドメイドサイトで販売することもあります。SNSで趣味や同窓会など仕事以外の人達とつながり、場所や時間を超えた新しいコミュニティを作って情報交換や交流をしています。これからはこのようなコミュニティ作りは大切になると思います。

しかし、良い事ばかりではありません。インターネットには悪質な情報も溢れていますし、明らかに人をだまそうとしている輩もいます。こちらには悪気はなくても著作権や肖像権などを知らずに不適切に写真を投稿してしまったり、インターネットはどこで誰が見ているかわからないと言う事を考えない発言をしてしまうこともあるかもしれません。私は個人が特定できるような人の写真は許可を得て使うとか、自分で撮った写真のみを使用するようにするにはしています。こんなことを言うと、だからSNSやインターネットはこわいしよくわからないと敬遠してしまう人がいるかもしれません。

しかし、世の中はSNSやインターネットが当たり前の時代になってしまいました。わからない！こわい！と言っていてはいつまでたっても使えるようにはなりません。多少の失敗は覚悟の上で勇気をもってまずは使ってみる事です。最初はよくわからなくても使っているうちに何となくわかってきたりするものです。身近にお子さんやお孫さんがいたら教えてもらうのもいいかもしれません。まずは経験してみることが大切です。経験を積むうちに、何かおかしい？と感じる勘や直感力も磨かれてくるのではないのでしょうか。怖がらずに、運用しながらネットのスキルやリテラシーを身につけていく必要があるでしょう。

モニターから No. 2

去る5月18日に土浦市の防犯情報メールをいただきました。メールでは県警では安心・安全な暮らしのため家庭や事務所を訪問し防犯のアドバイスなどをお伺いする巡回連絡を行っております。とくに6月からは高齢者総合安全対策として65歳以上の高齢者のいる家庭を中心に防犯指導・交通安全指導を警察官による具体的なアドバイスが行われます。地域警察官が伺いますのでご協力をお願いします。とのことでした。私たちは小荷物受領時の送付者確認・訪問販売等の冷静な対応など消費者トラブルをなくすため勉強してきました。

防犯情報メールを見てまず感じたことは

- ① 地域の人はこのメールを見てますか。知らない人が多いと思います。
- ② いきなりの警察官巡回訪問に「カタリ」との見分けが難しくとまどいます。
(警察官を装う詐欺グループ)
- ③ この観点から各地域の町会において警察等に問い合わせる実施時期の確認を行って円滑に実施できるようにしたほうが良いと考えました。

以上ですがある程度 急を要する事態と思いましたので投稿としました。

問合せ先

県警 ; 地域部 地域課

029-301-0110

モニターから No. 3

SNSやインターネットは現代社会において人と人のつながり、社会とのつながりで速くて、便利で、多数の人々とのかかわりをつくるが、一方、それはかなり危険を伴うという面があり、十分注意しなければならないと思う。人間は良い所、悪い所とあわせもっており、人間の欲望は際限なく、十分に信用できる相手かどうかは、分からない。特に買い物は相手の欲望をそそったり、売り上げやもうけを得ようとしていると思うので、こちらの見きわめが必要と思う。

特に安くするという面に消費者は目がいくので、そこは買う時に十分考えねばならない。「安物買いの銭失い」ということわざがあるが、本当に必要かどうか自己判断し、相手のペースに巻き込まれないことが重要と思う。インターネットのおかげで、家に居ながらでも、外の社会を知り、さまざまな情報を得ることが毎日できる。けれども、間違った情報が流れるときもあるから、注意が必要である。良い情報は進んでとりいれるとよいと思う。より良い社会をさらにつくっていくためには消費者は、市民は、日々学び、賢くならねばならない。

デジタル化が進み、昔の人たちが味わえなかった便利さは、快適な生活をおくる幸せを私たちに与えるが、高齢者やつつましい生活を送る人々、スマホやインターネット等の器具をそろえたりすることができない人々にとって、非常な社会となるのではないだろうか。そうならないための支援は大切と思う。障害がある人々にとって、デジタル化は一方ではできなかったことができるようになる福音でもある。上手に使用してゆかれればすばらしいと思う。

モニターから No. 4

スマホの普及により便利になった反面、我々のすきをつく悪質なメールも増えてきました。タッチ操作で済んでしまうので、ちょっとしたミスでタッチしてしまうと、とんでもないサイトにつながってしまうことすらあります。買い物や個人売買等はクレジット番号等を入力したりす

るので、ほとんど利用しません。情報を得るのに検索はよくしますが、いったん検索したりするとそれに関するサイトが次々と送られてきます。検索するしないにかかわらず、無料でお試しできます・高収入が得られます・1万ポイント差上げます等、数え上げたらきりがありません。そして下の方には「詳細はこちら」の矢印。さらにはごていねいに「配信停止はこちらの」の一言を添え、本物であるかのように装います。もっと巧妙になると「詐欺メールにはお気をつけ下さい」と追加の文までつけてきます。大手携帯会社・NHK・大手通販会社等、大手の名前を使って誘ってくるので要注意です。

情報があふれる中、自分のほしい情報を得るのは簡単ですが、正しい情報であるかどうかを見分ける目が必要なのは、言うまでもありません。

モニターから No. 5

突然、私のスマホに知らない人から「新しい友だちとトークしよう」と顔写真付のメールが入り、びっくりした事がある。いわゆるLINEに少しのつながりをたどり、友達の登録がなされるようだ。もちろん正式に起動させなければ繋がらないようだが、最初のうちはこれなんだ！！と思った。今は完全無視しているが、私のスマホには友達(???)がたくさん登録されている。友達大尽だ。

ただパソコン1台の我が家は、夫がパソコンを一人占めしているので、なかなか検索等出来なかったが、今はスマホで全て出来るので辞書がわり、百科事典がわりだ。以前のように広辞苑をよしよとひっぱり出さずに調べる事も可能なので、重宝している。その上、何とおりこうさんなのだろう。一つの事項を検索すると、その事に関する四方八方の情報が得られる。周りの人々がスマホにくぎづけになるのが不思議だったが、なるほどと思う。一つの事項から波及した言語や背景までも芋づる式に出てくるのだ。こんなに面白いものはない。親も子供もスマホを見ている姿にあきれていたが、今私自身がその風景の中にいる。

今のところ、ネットを利用した買い物もあまりしないので、これと言ったトラブルもないが、2022年11月30日公開された対話型AI・チャットGPTがまだ半年しかたっていないのに、リアルタイムでAIの画像が流れたり、誤情報が幅をきかせはじめたらと危惧される。そう、私が今書いている消費者モニターのレポートもチャットGPTに問いかけたら、レポートNO.1～NO.8迄、皆同じ内容だったという事もありうるのだ。と思うと面白い??いやいや個人のつたない意見など、つまらない物になってくるのだろう。そう考えると自分自身の考えがゆらがないように、しっかりと腰をすえないといけないと思っている。

ああ、今まで歩んできた道のりや足あとは、どう残していったらよいのか不安になってくる。

モニターから No. 6

SNSの使用で気を付けることとして、我が家では子どもたちに「投稿」を禁止しています。閲覧をすることは許していますが、投稿するとなるとどこで個人情報や位置情報を拡散してしまわないか心配でなりません。しかし、我が家の子どもたちが投稿しなくても、友達の投稿に載っていたことがあります。この投稿は24時間経てば消えるものだと言いますが、それでも24時間は世界中に拡散されているということがどれほど危険か理解されません。簡単に投稿できてしまうものだからこそ、安易な気持ちでやらないで欲しいと思っています。

インターネットで商品を購入するのはとても便利です。しかし、個人売買はしないことにして

います。子どもが好きなアーティストのグッズが欲しいから、個人から買いたいと言いますが、これも許可していません。この個人から購入するのは、アーティストを応援していることにはならないからです。それと同時に、この個人を信用して良いのか分からないというのが一番の問題点かもしれません。

SNSやインターネットは生活から切り離せないものだとも感じています。上手な使い方を身に着けられるよう、ブラッシュアップしていこうと思います。

モニターから No. 7

今やネットによる買い物やSNSによる情報が有り触れている時代世相となっていますが、それを上手に利用する方法や術を全くと言って良い程、私は分かりません。今や誰もが手にしているスマホですが、それによる利便性もかなり評価されている所ですが、つつい知ったかぶりで、ネットにより物品等を購入すると段階的に次から次へとステップが上り、ついには個人情報盗み取られたりする事に発展する可能性が指摘されている事を鑑み、やはりネットによる物品の購入や契約は慎重にも慎重な対応が必要を考えられます。だからと言って「スマホ」と言う文明の利器を使わない手は無いと思いつつ、日々様々な勉強をしつつ、昨今の情報化社会を健全に乗り切る生活術（チエ）を学んでいこうと思う今日この頃です。

何か発生した場合は、消費生活センターの有効且つ建設的なアドバイスを頂き、健全で明るい日常生活を送りたいと思っている所です。

モニターから No. 8

SNS、インターネットの使用は最小限に抑えてきていました。しかし近年、色々興味を唆られるキャッチコピーや、手軽に調べ物や買い物ができるなど使わずにはいられない環境になってきています。これをどう消費者が賢く選択していくかは更にこれからの課題だと思っています。

自分自身昨年、カードの不正使用にあってしまいました。自分は絶対大丈夫と過信していました。ところが心の隙間かな、カードの有効期限を入れ直しをしたばかりでした。大手通販サイトから、手続きに不備があると、直ぐに入れ直しをしないと情報が漏れますと。この不備とか、情報漏れとか、という言葉が一気に不安をあおりました。すぐそのサイトで手続きをしました。しかし後で何となくおかしいと思いつぐにカード会社に解約の連絡をしました。音声応答のため、正式解約が次の日になりました。次の日、案内の担当に確認電話したところすでに数時間の間に何者かが10万円の買物をしていたのです。その時のショックは今でも思い出すとドキドキしてしまいます。半年先になりましたがカード会社さんの調査で無事に取り返して頂きました。

反省です。相手は必ずあおります。急がせます。考える時間を与えてくれません。そして不安にさせます。しかし、冷静になれば、今すぐになんて事はそうそうにありません。ゆっくり考えて次の日でもその次の日でも、大丈夫です。本当に必要ならば、正式な通知が来ます。それからでも間に合うのではと、自分自身に言い聞かせ、反省としました。

モニターから No. 9

友達や家族との連絡には、ラインを使ってすることが多い。ラインが繋がってない友達との連絡は、ショートメールを使っている。詳しいことは、後から直接電話で話をするようにしている

が、SNSは自分の都合の良い時間に連絡できて、とても便利だと思う。ショートメールには、白髪染めや歯の黄ばみ取り、しわ取り等の広告が良く入ってくるが、ほとんど見ずに削除している。

この頃、「お客*様が不在の為お荷物を持ち帰りました。こちらにてご確*認ください z3m5.eqhob.com?f」というメールが届くことが、数回あった。当初は慌てて連絡しようとしたが、宅配の会社名が書いてないし、何も頼んでなく届く予定も無かったので主人に相談して、無視することにした。

インターネットでの買い物は、お店で売っている物よりも安く、速く手元に届くので便利なが多い。しかし、届いた品物が考えていたのと違うとか、使い勝手が良くないとか聞くことがある。私は、インターネットの品物が本当にお買い得なのか、お店の品番と同じか、店員さんに聞いたり確かめたりして、どこで買うのが良いか判断するようにしている。

ユーチューブやT i k T o kを孫が見ているらしく、よく話題に出る。私も必要な情報を得るために、たまに使う事もある。しかし、ものによっては、注目を集めるために、過度におもしろ可笑しくしているものが多いように思う。ユーチューブやT i k T o kだけで無く、SNSの利用については、家族や友達とよく話し合い情報を集めて、うまく利用していきたいと考えている。

モニターから No. 10

SNSやインターネットでの利用に際して気を付けることは、消費生活センターから配布された資料に詳しく説明されているから、それを十分に生かすべきであると思う。むしろ、これをわたしたち消費生活モニターの周囲に伝え、知らしめることがわたしたちの役目であろう。

付け加えたいのは、だれでも利用できるようになったSNSと言われるが、買い物とか情報の収集はいいとして、注意したいのは「個人の意見を自由に簡単に発信できるようになった」ということである。以前なら、せいぜい家族あるいは友人・知人にまでしか伝わらなかった・伝えられなかった個人の意見・見解が、日本中どころか世界中にあつという間に伝わることになった。逆に、そういうところからの意見・見解が伝わってきている。それをSNSで表明するのは何の目的なのかをよく考えたい。それに賛同してほしいということなのか、あるいは異なる見解(異見とでもいう?)を知りたいということなのか。友人・知人たちに話すときは、そういう動機であるが、世界的に発信するときも同じか、そこまで広く発信しなくてはならないことか。〇〇ハラメントや特定の人をけなしたり脅したりすることに利用することは慎みたいものと思う。

自分がそう思うなら、そう思っていればいいのであって、(世界中の)他人を巻き込んでまで、特定の人物・事象を非難・けなすことにSNSを利用することはやめるべきであろう。誰でもが理性をもって気持ちよくSNSを利用したいものである。

モニターから No. 11

インターネットは調べたいことがあったときの検索やメールの送受信、興味のあるブログを読むことが主で、SNSは使ってはいません。それはネットで個人情報漏れやすいことに不安があることと、自分の意見や考えを述べたとき、誰が読んでいるかわからず中傷されたり、こちらの意図とは違う方向に解釈されるのを避けたいからです。

ネットでの個人的な売買も一般的になってきて、店では売っていないようなニッチなものま

で探しだせるようになりました。また自分の家で不要になったものも売ることができます。これもうまく利用すれば生活に楽しみが増えたり、これまで探してもなかなか手に入れることができなかったものを入手できるのですが、私は利用していません。理由はネットでの個人的な売買には不安があるし、そもそもあちこち探してどうしても手に入れたい、安く買いたいというものがないからです。ただ個人的な売買は別にして、ネットでしか販売していませんという商品が増えてきているように感じます。

私のようにトラブルを恐れてばかりいてうまくインターネットを活用できない人間はそのうち世の中から取り残されるのだらうなと思いながら、毎日の生活に支障がないことを理由に一歩踏み出せないでいます。